

水性 木材保護塗料塗り (WP : 浸透タイプ)

1. 適用範囲

工事名 :
工事場所 :
施工業者 :
塗装業者 :
特約店名 :

2. 材料

水性バトンプラス 各色 JASS 18 M-307 適合

3. 施工部位

外装木部

4. 工程

| 工程 | 種別 | | 塗料その他 | | 塗付け量 (kg/m ²) | 乾燥時間 (23℃) | |
|--------|---------------|----|----------------------------------|------------------|------------------------------|----------------|-------------|
| | A種 | B種 | 規格番号 | 製品名 | | | |
| 素地ごしらえ | ○(注)1 | | 新設時 : 18.2.2 による、改修時 : 7.2.2 による | | — | — | |
| 1 | 下塗り | ○ | ○ | JASS 18 M-307 | 水性バトンプラス 各色 | 0.06 (0.10) | 4 時間 以上 |
| 2 | 上塗り (1 回目) | ○ | ○ | JASS 18 M-307 | 水性バトンプラス 各色 | 0.06 | 12 時間 以上 |
| 3 | 上塗り (2 回目) | ○ | — | JASS 18 M-307 | 水性バトンプラス 各色 | 0.04 (0.06) | — |

(注) 1. 18.2.2 木部の素地ごしらえ、7.2.2 木部の下地調整の種別は、塗料その他の欄による。

2. JASS 18 M-307 は、日本建築学会材料規格である。

3. 改修時、既存塗膜が木材保護塗料塗り (WP) の塗り替えの場合は、() 内塗布量を適用する。

4. 改修時、新規に塗装を行う場合は、7.2.2 木部の下地調整に代えて、7.3.2 木部の素地ごしらえを行う。

5. 注記

- 本仕様は、公共建築工事標準仕様書(令和4年度版)に基づいた仕様です。
- 既存塗膜がある場合は、表 7.2.1 木部の下地調整の RA 種 (既存塗膜の全面除去) 等を適用して下さい。
- 上記塗布量は公共建築工事標準仕様書(令和4年度版)の木材保護塗料塗りの塗付け量です。
- 乾燥・塗り重ね時間は、温度・湿度等の条件により異なります。5℃以下や多湿時の塗装は避けて下さい。
- 使用したウエス等は自然発火の恐れがありますので、破棄するまで水に浸す等適切に処理して下さい。
- 「水性バトンプラス #5001+透明」単独での使用は避けて下さい。顔料を配合していませんので、耐候性がありません。
- 不燃処理されている木材には水性塗料は避けて下さい。
- 製品詳細は、製品カタログや SDS 等を参照して下さい。

以上 大谷塗料株式会社